

胃がん検診で萎縮性胃炎と 判定された方へ

～ピロリ菌検査の勧め～

ピロリ菌は皆さんが子供のころに胃に感染します。ピロリ菌感染から長年経ち、胃が荒れて薄くなった結果、「萎縮性胃炎」と判定されました。ピロリ菌感染により生じた萎縮性胃炎から胃がんが発生します。

今回内視鏡検診で「萎縮性胃炎」と判定された方は、ピロリ菌検査及び除菌療法が保険適応となります。ピロリ菌陽性の方は、除菌療法を受ければ約90%の確率で除菌され、胃がんができる確率が下がります。胃がんを予防するためにも、ピロリ菌検査及び除菌療法をお勧めします。ただし、X線検査で検診を受けた方は、まず内視鏡検査を受けてからピロリ菌検査を受けてください。

なお、すでに除菌療法を受けたことがある方も、胃がんになる可能性はありますので、引き続き胃がん検診を受けてください。